

(別記)

2019 年度荒尾市地域農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

本市の農家は兼業農家が大半を占め、専業農家は水稲と果樹等の複合経営がそのほとんどである。土地利用型農業については大半が水稲の単作であるが、近年はWCS用稲や二毛作としての麦の作付けが全水田の約9%を占めるなど、転作作物として主要な位置に付いている。主食用米については、平成29年産に続いて平成30年産も同じ作付面積となったが、需要動向の把握を行い、適切な作付面積の計画を立てる必要がある。耕作者については、地区の中心的な耕作者として担い手を一定の人数が確保できているが、小規模農家で高齢化が顕著であり、離農者が毎年20人程度出ている現実がある。また、農地の利用状況としては、圃場整備地区での担い手への集積が進む一方で、通作に不便であったり、イノシシに代表される害獣の被害に遭うなど、立地に恵まれていない農地の休耕状態に歯止めが掛からない状況にある。耕作放棄状態の水田は179ha(26%超)であり、これらの解消も急務となっている。※担い手：認定農業者(個人、法人、集落営農)

2 作物ごとの取組方針等

市内の約680ha(不作付地を含む)の水田について、適地適作を基本として、産地交付金を有効に活用しながら、作物生産の維持・拡大を図ることとする。また、麦及び飼料作物の二毛作や飼料用米の稲わら利用及び飼料作物による資源循環(堆肥散布)の取組を産地交付金で支援する。

(1) 主食用米

WCS用稲の安定化及び新市場開拓米の開始等により、平成30年産では国の目安を下回る作付け実績(約40haの深堀り)となったが、主食用米における状況は平成31(令和元)年産も殆ど変わることがないと思われるため、作付け目安の個別提示は行わない。

(2) 非主食用米

ア 新市場開拓用米

約5.4haを多収性品種である、「やまだわら」にて取り組む。

イ WCS用稲、飼料用米

WCS用稲と飼料用米については、畜産農家の需要に沿った作付けを行う。

(3) 麦、飼料作物

小麦については、シロガネコムギ及びチクゴイズミを作付けする。また、産地交付金を活用し、担い手への農地集積を促進し、生産性向上を図る。飼料作物については、畜産農家の需要に沿った作付けを行う。

(4) 高収益作物（野菜等地域振興作物）

「オクラ」、「スナップエンドウ」、「なす」、「キャベツ」を地域重点振興作物とし、たばこ等のその他作物についても産地交付金を活用し作付面積の拡大を図る。また、南瓜は担い手への農地集積を促進するために担い手加算を行う。

(5) 耕作準備作物（地力増進作物・景観形成作物）

水田の休耕状態の防止に加え、収益性のある作物への転換を促すための耕作準備を目的とする。令和2年産までを交付の期限とする。

(6) 不作付地の解消

現行の不作付地（約179ha）については、麦・飼料作物・WCS用稲などの戦略作物及び、体力と相談しながら取り組める小物野菜やオリーブといった高収益作物を作付けることで、今後3年間で約5%（約9ha）の解消を図る。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	前年度の作付面積 (ha)	当年度の作付予定面積 (ha)	2020年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	358ha 1,768t	395ha 1,967t	392ha 1,952t
飼料用米	0	0	0
米粉用米	0	0	0
新市場開拓用米	5.3	5.3	5.4
WCS用稲	43.8	45.5	45.5
加工用米	0	0	0
備蓄米	0	0	0
麦	18.5	19.0	19.5
内基幹作	1.6	1.6	1.6
内二毛作	16.9	17.4	17.9
大豆	0.4	0.4	0.4
飼料作物	39.8	41.2	44.2
そば	0	0	0
なたね	0	0	0
その他地域振興作物	28.8	30.0	30.5
野菜	19.0	23.8	26.3
内オクラ	0.9	1.0	1.3
内スナップエンドウ	1.1	1.3	1.5
内なす	3.8	4.2	4.5
内キャベツ	3.6	4.2	4.5
内南瓜	3.8	3.8	4.0
果樹等	0.4	0.1	0.1
耕作準備作物	6.8	3.5	1.5
内地力増進	3.5	2.0	1.0
内景観形成	3.3	1.5	0.5
その他	2.6	2.6	2.6

※主食用米の目標値（2019、2020年度）において使用した単収は498kg/10a

4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	前年度（実績）	目標値
				2018年度	2020年度
1 2	麦（基幹作・二毛作）	麦（担い手）加算（基幹・二毛作）	作付面積拡大（基幹作）	1.50ha	1.5ha
			作付面積拡大（二毛作）	14.50ha	18.4ha
			収穫量の増大（反当り）	240kg	245kg
3	南瓜	南瓜（担い手）加算（基幹）	作付面積拡大	3.1ha	3.2ha
4	オクラ・スナップエンドウ・なす・キャベツ	地域重点振興作物助成（基幹）	作付面積拡大	9.60ha	12.0ha
5	大豆・飼料作物・飼料用米・加工用米（二毛作）	二毛作助成（二毛作）	作付面積拡大	39.8ha	47ha
			水田利用率の向上	105.80%	106.91%
6	飼料作物、飼料用米（基幹作・二毛作）	資源循環の取組（耕畜連携）（基幹・二毛作）	取組面積の拡大	49.10ha	51.5ha
			施肥作業時間短縮化	△1.2H	△1.5H
7	野菜、花卉・花木、果樹等、雑穀、その他作物	地域振興作物助成（基幹）	作付面積拡大	12.10ha	15.4ha
8	耕作準備のための景観形成作物・地力増進作物	耕作準備作物への助成（基幹）	作付面積の縮小	6.90ha	2.0ha
			高収益作物の作付面積	3.70ha	(3.2ha) 4.9ha
9	新市場開拓用米	米の新市場開拓助成（基幹）	作付面積拡大	5.30ha	(5.0ha) 6.3ha
			反収の確保	570kg/10a	(510kg) 600kg/10a
10	野菜、花き・花木、果樹、その他作物、	高収益作物拡大加算（基幹作）	作付面積拡大	26.8ha	(2021年度)32.0ha
	新市場開拓用米			5.30ha	(2021年度)6.5ha

※ 必要に応じて、面積に加え、当該取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定して下さい。

※ 目標期間は3年以内として下さい。（目標値の上段括弧書きは変更前の数字。）